

令和4年度 新潟県コンクリート診断士会 第1回技術セミナー概要

日 時：令和5年2月8日（水）13:00～17:10

場 所：オンライン開催

参加人数：68人



内 容

①旧妙高大橋の健全性評価

金沢工業大学工学部 環境土木工学科 教授 田中泰司 様

旧妙高大橋の健全性については、微破壊検査・構造解析・モニタリングを組み合わせることで現状を評価することができたが、どの程度正しかったのかが不明であるため、評価精度を確保するため、高出力エックス線装置、次期計測システム、FEM解析による安全性評価の開発を実況での実証を通じて行っている。

②携帯型蛍光X線分析装置を使用した硬化コンクリートの塩化物量の測定

診断技術株式会社 佐藤幸作 様

コンクリートの塩化物量の測定について、電位差滴定法に代わる携帯型蛍光エックス線分析装置の紹介がありました。施工例からは十分実用可能であり、コストダウンが期待される。

③亜硝酸リチウムを使った補修技術と施工事例

極東興和株式会社 江良和徳 様 鬼村果穂 様

亜硝酸リチウムの概要とその活用方法及び、ASRリチウム工法の事例と施工手順が紹介されました。2002年から39件の施工事例について効果確認の結果では、内部圧入後には、ASR膨張性が無害域となっている。

④流動性を高めた現場打ちコンクリート

株式会社木戸生コン 池浦一雄 様

新潟県生コンクリート標準配合表において、スランプを選択できる範囲が設定された。

生コン工業組合では、生コンの価格がスランプフリーとなり、コンクリートの施工性の向上が期待される。

自己充填性を有する高流動コンクリートと軽微な締固めを必要とする高流動コンクリートの製造への対応についての報告がありました。